

JIS

加硫ゴム及び熱可塑性ゴム— 熱老化特性の求め方

JIS K 6257 : 2003

(JRMA/JSA)

平成 15 年 6 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 化学製品技術専門委員会 構成表

| | 氏名 | 所属 |
|-------|---------|------------------|
| (委員長) | 宮 入 裕 夫 | 東京医科歯科大学 |
| (委員) | 大 久 泰 照 | 昭和シェル石油株式会社 |
| | 奥 山 通 夫 | 社団法人日本ゴム協会 |
| | 笠 野 英 秋 | 拓殖大学 |
| | 加 茂 徹 | 独立行政法人産業技術総合研究所 |
| | 木 原 幸 弘 | 社団法人日本化学工業協会 |
| | 桐 村 勝 也 | 社団法人日本塗料工業会 |
| | 高 野 忠 夫 | 財団法人化学技術戦略推進機構 |
| | 高 橋 信 弘 | 東京農工大学 |
| | 西 川 輝 彦 | 石油連盟 |
| | 西 本 右 子 | 神奈川大学 |
| | 古 川 哲 夫 | 財団法人日本消費者協会 |
| | 堀 友 繁 | 財団法人バイオインダストリー協会 |
| | 楨 宏 | 日本プラスチック工業連盟 |

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 5.2.1 改正：平成 15.6.20

官 報 公 示：平成 15.6.20

原 案 作 成 者：日本ゴム工業会

(〒107-0051 東京都港区元赤坂 1 丁目 5-26 東部ビル TEL 03-3408-7101)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 杉浦 賢)

審議専門委員会：化学製品技術専門委員会 (委員長 宮入 祐夫)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 標準課産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本ゴム工業会 (JRMA) / 財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、JIS K 6257:1993 は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正は、日本工業規格を国際規格に整合させるため、ISO 188 : 1998, Rubber, vulcanized or thermoplastic—Accelerated ageing and heat resistance tests を基礎として用いた。

JIS K 6257 には、次に示す附属書がある。

附属書 A (参考) 精度評価結果を使用するための指針

附属書 1 (規定) 強制循環形空気加熱老化試験機 (ギヤー式老化試験機) の検査

附属書 2 (参考) 試験精度

附属書 3 (参考) JIS と国際規格との対比表